

Travel to consider Ecology & Bauökologie



「これから建築」を日本に連れて帰ろう！

第14回 ドイツ・フランス・ルクセンブルグ エコバウ建築ツアー 2010

Germany & France & Luxembourg Ecobau Tour 2010.10.10~10.17

暮らしと自然がつながるための建築を求めて



第14回エコバウ建築ツアー 実行委員会



第14回 ドイツ・フランス・ルクセンブルグ エコバウ建築ツアー2010

Germany & France & Luxembourg Eco-bau Tour 2010.10.10-10.18

地球にも住む人にもやさしい、 建築の未来を探求する9日間の旅

環境先進国であるヨーロッパでは高性能な省エネルギー建築“パッシブハウス”が早くから実用化されています。日本でも住宅エコポイント制度により、注目を浴びている省エネルギー住宅。CO2削減に向けた取り組みは当然の仕様になってきました。しかし、環境にのみにこだわった住宅で本当にご満足頂けるのでしょうか？

お施主様が『本当に良いもので快適に永く住みたい。』と納得する住宅を提唱する。この実現のため、環境先進国であるヨーロッパの“人と自然と建築の繋がり”をヒントに、「これからの建築」を日本に連れて帰ろう！



訪れる視察先では建築に携わった人々のお話を直接聴き、解説を受けることができます。また個人では手配できない建物内部の視察もあり、大変充実した内容です。ドイツをはじめとする環境先進国の自然エネルギーの開発・利用そしてその継続のようすを視察するほか、環境への配慮にあわせコミュニティの輪を広げた住民たちの暮らしかたに触れて、より一層考えを深める旅に出かけましょう。



第14回ドイツ・フランス・ルクセンブルク エコバウ建設ツアーデイ程表 2010年10月10日～18日

日付	場所	プログラム（建築家・建築年）
10 / 10 (日)		成田・関空から出発～ルクセンブルク
10 / 11 (月) 	ルクセンブルク	<ul style="list-style-type: none"> ■ Remerschenのユースホテル (HERMANN & VALENTINY and partners, 2004年) ■ Ecological building products market ■ 太陽風「SOLARWIND」—将来のオフィスビル (2009年)   
10 / 12 (火) 	ストラスブール フライブルグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストラスブール大聖堂 ■ “小さなフランス”「Petite France」 ■ 新しい住宅地域リーゼンフェルト住宅地域 ■ シュタイナー学校—フライブルグ ■ 回転するソーラーハウス (Rolf Disch, 1994年)   
10 / 13 (水) 	カールスルーエ	<ul style="list-style-type: none"> ■ セミナー・ナンシーストリート ■ ウォルドーフ幼稚園カールスルーエ ■ “50 Morgen” Hohenwettersbach   
10 / 14 (木) 	マンハイム シュパイアー ルートヴィヒス ハーフェン	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドームスペースハウス 「DOMESPACE」 ■ Speyer Quartier Normand (シュパイアー ノーマンド地区) (Osika, 2007年) ■ 旧電気変電所 (Hans Graf, 1928年)   
10 / 15 (金) 	フランクフルト	<ul style="list-style-type: none"> ■ セミナー・パッシブ学校 Riedberg (Stuttgart gebaut, 2004年) ■ ワークショップやスタジオのウォルドルフ学校 (Peter Hübner, 2002年 and 2006年) ■ Eco-house見学 ■ セミナー「サステナブル」  
10 / 16 (土) 	フランクフルト	<ul style="list-style-type: none"> ■ ショッピング ■ 運河クルージング 
10 / 17 (日)		フランクフルト～成田・関空 18日（月）朝到着



視察先ミニ情報

Germany & France & Luxembourg Eco-bau Tour 2010.10.10-10.17

10 / 12 TUE 新しい住宅地域 リーゼンフェルト住宅地域

フライブルク西側地域は、1994年よりモデル都市計画として、優れた地域マネジメントにより開発が進められている。ここでは色々な世代の住民が活動的な生活が出来るよう、多様性のある住居を建設しています。

リーゼンフェルト住宅地域は、フライブルク市の戦後の西側開発政策にのっとっている。敷地内に省エネルギー住宅4500軒、職員1000人分をもち、公共・民間のインフラも充実している。320ヘクタールの一部70ヘクタールを新しい住宅地として開発され、残りの敷地は自然保護地域となっている。



ツアーコーディネート&コンダクター

ホルガー・ケーニッヒ Holger König

1951年ミュンヘンに生まれる。ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。1983年エコロジー建材店および家具工房の「ホルツ・ケーニッヒ」を設立。



また、妻とともにケーニッヒ=フェリケリウス建築設計事務所を主宰し、パウビオロギー・パウエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年より「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。

主な著書は「健康な住まいへの道 パウビオロギーとパウエコロジー」(建築資料研究社2003)、「断熱材とその利用法」、「小屋裏空間」(1996, Freiburg)などがある。

篠 節子 1級建築士事務所 篠設計工房

お施主様の希望を充分理解すると共に、風土・歴史・文化についても配慮した地域の景観に馴染むような空間デザインを創り上げている。また、地球全体の大きな課題である環境問題についても、建築士の立場から課題解決の研究と啓蒙活動を行っている。



(所属団体) 東京建築士会 会員、日本建築学会 会員、JIA日本建築家協会 会員、インテリアプランナー協会 会員

(社会活動) 東京建築士会 女性委員会委員/JIA環境行動委員会委員会(平成21年より JIA環境行動ラボ) 委員/日本女子大学教育文化振興桜楓会 教育文化部委員/東京建築士会 バリアフリー部会委員/東京建築士会 環境特別委員会委員/インテリアプランナー協会 情報委員会委員/UIC 2011 東京大会日本組織委員会 学術委員

主催 第14回エコバウ建築ツアーティム委員会

実行委員会事務局

株式会社 イケダコーポレーション 通訳・ガイド: Ms. Grimm Ichiko
旅行手配: JTB法人営業大阪支店
運営: 株式会社 イケダコーポレーション

昨年までのエコバウツアーティム記はホームページをご覧下さい

<http://www.iskcorp.com>